

令和2年度

事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)



学校法人玉田学園

学校法人玉田学園 令和2年度 事業報告

1 法人の概要

(1) 基本情報

①法人の名称：玉田学園

②主たる事業所の住所・電話番号・FAX番号、ホームページアドレス等

<住所>神戸市長田区池田上町92 <TEL>078-691-0561 <FAX>078-691-4562

<URL><http://www.kobe-tokiwa.ac.jp>

(2) 建学の精神

「女子ニ必須ナル智識技能ヲ授ケ、質実健全ナル母妻ヲ養成スルヲ目的トスル」

(3) 学校法人の沿革

年	事 項
1908	校祖玉田貞也 私立家政女学校創設
1915	私立神戸高等家政女学校と改称
1921	神戸家政女学校と改称
1932	専攻科・裁縫専修科設置
1944	玉田学園設立 神戸女子商業学校と改称
1946	神戸高等女学校と改称
1948	神戸常盤女子高等学校・神戸常盤中学校と改称
1967	神戸常盤短期大学 設置認可（幼児教育科・衛生技術科） 教員養成・保母資格取得課程 認定される（幼児教育科） 衛生検査技師養成学校として指定される（衛生技術科） 神戸常盤短期大学 開学
1970	神戸常盤短期大学附属幼稚園 開園
1971	臨床検査技師国家試験受験資格指定校となる
1974	臨床検査技師養成校として指定され、臨床検査技師国家試験受験資格指定校となる（衛生技術科3年制）
1983	神戸常盤短期大学衛生技術科専攻科 開設
1984	神戸常盤短期大学幼児教育科専攻科 開設
1988	神戸常盤短期大学教養科 設置認可
1989	神戸常盤短期大学教養科 開設
2000	神戸常盤短期大学看護学科 設置認可
2001	神戸常盤短期大学看護学科 開設
2002	エクステンションセンター 開設 神戸常盤短期大学健康文化学科 設置認可
2003	神戸常盤短期大学健康文化学科 開設
2003	教育課程改訂看護医療特進コース設置
2004	神戸常盤短期大学看護学科通信制課程 設置認可
2005	神戸常盤短期大学看護学科通信制課程 開設
2008	神戸常盤大学 開設 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科 開設 学校法人玉田学園創立百周年
2009	ライフサイエンス研究センター、ボランティアセンター、健康保健センター、KTU 大学教育開発センター 開設
2010	子育て支援センター「子育てひろば えん」 開設
2011	普通科特進コース改組(幼教特進、四大特進、看護医療特進)
2012	神戸常盤大学教育学部こども教育学科 開設
2013	地域交流センター、国際交流センター、教職支援センター 開設
2014	教育イノベーション機構 開設
2016	新2号館 竣工

2018	学校法人玉田学園創立百十周年
2019	診療放射線技師学校指定校となる
2020	保健科学部診療放射線学科 開設 新8号館 竣工

(4) 設置する学校・学部・学科等

学校名	学部名等	学科・コース名等	
神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	—
		診療放射線学科	—
		看護学科	—
	教育学部	こども教育学科	—
神戸常盤大学短期大学部	—	口腔保健学科	—
	—	看護学科通信制課程	—
神戸常盤女子高等学校	普通科	総合コース	進学コース キャリアコース
		大学特進看護医療コース	—
		大学特進こども教育コース	—
	家庭科	調理・製菓コース	—
		服飾コース	—
		—	—
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	—	—	—

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和2年5月1日現在)

学校名		入学定員	入学者数	収容定員	現員数	
神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	80	86	320	349
		診療放射線学科	75	86	300	86
		看護学科	75	82	310	342
	教育学部	こども教育学科	80	96	320	349
神戸常盤大学短期大学部	—	口腔保健学科	70	77	210	225
	—	看護学科通信制課程	150	109	300	317
神戸常盤女子高等学校	—	—	310	287	930	816
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	—	—	15	12	60	39

※高等学校、幼稚園の入学定員は募集定員を計上。収容定員も募集定員の合計を計上。

(6) 収容定員充足率

(令和2年5月1日現在)

学校名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
神戸常盤大学	1.13	1.13	1.10	1.08	1.10
神戸常盤大学短期大学部本科	1.13	1.08	1.00	1.10	1.07
神戸常盤大学短期大学部通信制	0.87	0.71	0.96	1.26	1.06
神戸常盤女子高等学校	0.91	0.92	0.98	0.93	0.88
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	0.90	0.88	0.77	0.63	0.65

(7) 役員概要

(令和2年5月1日現在)

役名	氏名	就任(再任)年月日	常勤・非常勤	備考
理事長	旭 次郎	平成30年3月28日	常勤	
常務理事	足利 誠薫	平成31年3月28日	〃	
〃	中村 忠司	令和2年3月25日	〃	法人本部長
〃	旭 潤一郎	令和2年3月25日	〃	統括管理部長
理事	濱田 道夫	平成30年3月28日	〃	大学・短大学長
〃	木村 光雄	平成25年4月1日	〃	高校長
〃	摺河 祐彦	平成28年5月28日	非常勤	
〃	後藤 武	令和元年5月28日	〃	
監事	中原 和之	平成29年5月29日	〃	
〃	尤 昭福	令和元年5月28日	〃	
〃	八代 智	平成31年3月28日	〃	

(8) 評議員概要

(令和2年5月1日現在)

役名	氏名	就任(再任)年月日	備考
評議員	濱田 道夫	平成30年3月28日	大学・短大学長
〃	木村 光雄	平成25年4月1日	高校長
〃	中川 千鶴	平成31年3月28日	高校教頭
〃	中村 忠司	令和2年3月25日	法人本部長
〃	鎌田 美智子	令和2年3月25日	大学副学長
〃	瀬川 和子	令和2年3月25日	大学教授
〃	高木 真美	令和元年5月28日	幼稚園長
〃	旭 潤一郎	令和2年3月25日	統括管理部長
〃	松元 英理子	令和2年3月25日	大学教授
〃	笹川 久子	平成31年3月28日	
〃	岡部 文雄	令和元年5月28日	大学同窓会長
〃	黒山 喜	令和元年5月28日	
〃	新保 知子	令和元年5月28日	大学後援会長
〃	赤星 麻未	令和元年5月28日	
〃	中村 順一	令和元年5月29日	
〃	旭 次郎	令和2年3月25日	理事長
〃	興梠 輝政	令和2年3月25日	
〃	足利 誠薫	平成31年3月28日	常務理事
〃	柴山 慶太	令和元年5月28日	
〃	野村 慶雄	令和元年5月28日	

(9) 教職員概要

(令和2年5月1日現在)

区分	教員		職員	
	本務	兼務	本務	兼務
神戸常盤大学	82	154	38	16
神戸常盤大学短期大学部	24	28	10	13
神戸常盤女子高等学校	54	14	10	—
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	5	3	—	1
合計	165	199	58	30

(10) その他

別紙詳細

2 事業の概要

別紙詳細

(1) 主な教育・研究の概要

<神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部>

・「卒業の認定に関する方針」

【神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部 全学ディプロマポリシー】

本学は、ときわ教育目標に向けて行われる正課の教育において、次の条件をすべて満たす者に対し、学位を授与する。

- ①学部・学科に所定の期間在籍すること
- ②「ときわコンピテンシー」に掲げるすべての能力が、知性と感性を備えた専門職業人に相応しいレベルに到達すること
- ③学部・学科が定める審査に合格し、卒業に必要な単位を取得すること

【保健科学部】

- 1) トータルヒューマンケアの視点を持った医療専門職の態度を身につける。
- 2) 臨床検査。診療放射線・看護のそれぞれの領域に関する専門的な知識・技術の基本を修得し、安全な医療を提供する基礎力を身につける。
- 3) チーム医療における専門職としての責務を自覚し連携力を身につける。
- 4) 地域・国際社会における保健医療福祉の向上に貢献できる自己研鑽力を身につける。

【保健科学部 医療検査学科】

- 1) 医療人にふさわしい倫理観、対人関係形成能力を身につける。
- 2) 医療検査に必要な基礎知識および基本的な専門知識を修得する。
- 3) 医療検査の実践に必要な基本的技術を習得する。
- 4) 医療の発展に寄与できる問題解決能力、自己研鑽力を身につける。

【保健科学部 診療放射線学科】

- 1) 高い倫理観と人の心に寄り添い行動できる豊かな人間性を身につける。
- 2) 診療放射線学に関する専門知識と技術を習得し、適切に実践できる能力を身につける。
- 3) チーム医療を円滑に遂行できるコミュニケーション能力を身につける。
- 4) 科学的思考力と創造的探究心を持ち、医療の発展に寄与できる研究的態度を身につける

【保健科学部 看護学科】

- 1) “いのち”に対する温かいまなざしと、高い倫理観を身につける。
- 2) 看護の対象の基本的な人権を擁護し、“苦痛や苦悩”を受け止め、共感的に理解するヒューマンケアの視点を身につける。
- 3) 科学的思考力を基盤に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行う基本的技術を修得する。
- 4) 患者・家族や保健・医療・福祉チームと良好なコミュニケーションをとり、連携を深めるための基本的態度を身につける。
- 5) 医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力を身につける。

【教育学部 こども教育学科】

卒業に必要な所定の単位を修得し、以下の能力や資質を身につけた学生に「教育学士」を授与する。

- 1) こどもの保育・教育に携わる者に必要な豊かな人間性と高い倫理観
- 2) こどもの心身の発達を支えるための専門知識と技能
- 3) 理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力
- 4) 実践の場において自ら課題を見だし研究することにより、保育や教育の質を高める態度

【短期大学部 口腔保健学科】

- 1) 豊かな人間性と社会性を支える幅広い教養を身につけている。(知識・理解)
- 2) 問題解決のための科学的探究心を持ち、継続的に学習する(自己研鑽に努める)能力を身につけている。(関心・意欲)
- 3) 個々の人格を尊重した対人関係形成能力を身につけている。(態度)

- 4) チーム医療の一員として他職種と協働・連携して専門性を発揮できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を備えている。(技能・表現)
- 5) 基礎医学を基盤とした歯および顎・口腔疾患に関する専門的知識を習得している。(知識・理解)
- 6) 生活背景や全身との関係を考慮した口腔疾患に関する警戒を立案し、安全に実践できる基本的な技能を有している。(思考・判断・表現・技能)
- 7) 口腔機能管理の実践に関する基礎知識を習得している。(知識・理解)
- 8) 口腔保健の立場から地域あるいは国際社会に貢献する基本的能力を備えている。(関心・意欲)

【短期大学部 看護学科通信制課程】

- 1) 対象を全人的に捉え、専門職業人としての倫理観を持って行動する力
- 2) 科学的根拠に基づいて看護を実践し評価する力
- 3) 保健医療福祉チームの中で、看護専門職の役割と機能を果たす力
- 4) 看護を探究し、科学的思考を基盤に発展させる力

・「教育課程の編成及び実施に関する方針」

【神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部 全学カリキュラムポリシー (CP)】

本学は、ときわ教育目標に向けて、「基盤教育分野」「専門教育分野」を設置し、その教育課程を次の方針に沿って体系的に編成する。

- ① 「ときわコンピテンシー」に掲げる諸能力の修得を促すため、科目の内容等に即した最適の学修形態を整える
- ② 「基盤教育分野」に、「学びの始め科目群」「人間探究科目群」「創造実践科目群」を置く
- ③ 「専門教育分野」は、学部・学科が定めるカリキュラム・ポリシーに従って編成する
- ④ 学修の成果をアセスメント・ポリシーにより不断に検証し、教育課程の改善を図る

【保健科学部】

本学部の各学科における学位取得のための当該知識・能力を、医療専門職として身につけるための教育課程を、以下のような視点から編成する。

- 1) 全学カリキュラムポリシーにおける「基盤教育分野」「専門教育分野」の編成方針に基づき、学部においても「基盤教育分野」における「学び始め科目群・人間探究科目群・創造実践科目群」を配列した。
- 2) 「専門教育分野」においては、さらに「専門基礎分野→専門分野」の二分野を設け各学科の専門性の内容が効果的に深化するよう編成した。なお三学科ともに科目を、「基本⇒展開⇒総合・発展」を原則として配列している。
- 3) 学部教育の主たるねらいとなるチーム医療を実践できる医療専門職を目指して学部共通単位の科目群を編成している。さらに令和2年開設の診療放射線学科に開講している「IPW(多職種連携論)3年次」を中心に、今後科目の広がりや深まりを検討し、学部間の多職種教育の充実のための、教育課程の編成に取り組む。
- 4) 学部合同開講の「国際保健医療活動Ⅰ、国際保健医療活動Ⅱ」他、地域・国際社会における保健医療福祉に貢献する人材育成に関連する科目群を配列している。
- 5) 「臨床力(臨地(臨床)に身を置き、多様な現実を読み取り考え行動する力)」を重視し、1年次の早期実習(アーリーエクスプロージャープログラム)の取り入れや、3年次からの臨床実践における課題解決学修、将来の研究力発揮のための「卒業研究」を編成している。

【保健科学部 医療検査学科】

学科の教育目標に掲げる優れた医療人を養成するため、臨床検査技師養成の指定大学として、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成した。

教育課程を「教養分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3つに区分し、各分野の連携により体系的な学習が可能となるように配置した。

- 1) 「教養分野」には、現代を生きるための、また臨床検査技師として保健・医療・福祉に貢献するための基礎となる科目を置いた。これらの科目では、異文化・社会や多様な価値観を理解し尊重する態度、自己を確立し他者の立場に立って考える想像力や感性、幅広い視野と深い洞察力を持ち的確に判断する力や、新しい時代を拓く創造力を養うことを目的とする。また、専門基礎分野・専門分野を理解するための基盤となる、読み・書き・論理的思考力・表現力・コミュニケーション能力や、主体的に学ぶ姿勢を涵養するための科目を加えて編成した。
- 2) 「専門基礎分野」は、多様な専門科目を学修する上で必要とされる知識・技術に関する基礎的な科目を配置した。
- 3) 「専門分野」には、臨床検査の専門的な知識・技術を習得する科目、および医療の高度化に対応できる基礎力・応用力を身

につける科目を配置し「形態検査学系」「生物化学分析検査学系」「病因・生体防御検査学系」「生理機能検査学系」および「総合・発展医療検査系」の5領域に区分した。各領域は講義と実習または演習で構成し、検査の知識と技術・実践を有機的につなげて理解できるようにした。さらに、「総合・発展医療検査系」では他の領域で得た知識を統合して発展させる科目、医療の場での実践的能力を養う科目や、研究的態度を養うための科目を配置し、保健医療に貢献し臨床検査の発展に寄与できる臨床検査技師の育成が可能となる編成とした。

【保健科学部 看護学科】

『いのち』に対する豊かな感性と知性、及び幅広い人間性を備えた資質の高い看護専門職業人を育成するために、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成した。

- 1) 「基礎分野、専門基礎分野、専門分野」科目の教育内容が有機的に、学修できるよう考慮し科目群を編成した。特に教養分野では、自らの「立ち位置」を確認し、看護専門職としての今後の展望に繋がる柔軟な視点を養うことを意図し、「リテラシー、人間といのち、人間と環境」に区分した科目群を設置している。また専門基礎分野では、看護学の専門性を支援する科目として、既に体系づけられている近接学問領域の知識や理論を「人間科学系、保健科学系、社会科学系」に区分して、科目群を編成した。
- 2) 施設内から在宅・地域への“継続的な看護”、及び看護の対象のQOL(生活の質)を高める“総合的な看護”を目指して、その実践力を的確に養うために、看護学を「基礎看護学、健康支援看護学、療養支援看護学、母子支援看護学」の4領域に整理区分した。さらにそれぞれの学修内容を、臨地実習において深化し統合できる様、3年次後期を中心に各臨地実習科目を編成した。
- 3) 看護学の科目群の設置・編成においては、“実践の科学”である看護学の特性を生かし、「看護学の基本⇒看護学の展開⇒看護学の臨床⇒看護学の発展と探求」と、系統的な区分編成をし、過程性、系統性を考慮した。
この編成においては、「臨床力(臨地に身を置き、多様な現実を読み取り、考え行動する力)」を高めることを重視し、「看護学の臨床」の内容充実にも力を注いでいる。特に、1年次初期の早期学修(アーリーエクスポージャープログラム)の導入により看護への興味・関心を広げ、4年次の課題別総合実習において、将来への展望を拓くことを意図した。加えて臨地実習施設との人事交流等を考慮した編成を行っている。
- 4) 学生の資質を調和よく発展させ、かつ身につけた知識や技術を統合し、創造的に課題解決していく姿勢を整うために、4年間の学修の効果的な統合として卒業年次の研究等の科目を編成している。加えて4年間の科目群編成において、教員と学生の対話や、ディスカッションを深める等の双方向の教育の実践、さらにはチューターによる4年間を縦断した個別的支援等、効果的な教授・学習過程であることを念頭に、科目間の関連を考慮して編成した。

【保健科学部 診療放射線学科】

本学が掲げる、『豊かな人間性、高い倫理観をもつ、また、地域社会、国際社会において保健医療の向上に貢献できる基礎能力をもつ専門職業人の育成』を基本に、本学科の教育目標に掲げた『いのちに対する温かい眼差しと高い倫理観を備え、人の心に寄り添える豊かな人間性の育成』と『医療を支える確固たる専門的な知識と技術を習得し、社会に貢献できる専門職業人を育成』を実現させるために、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成した。教育課程を「基盤教育分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3つに区分し、講義、演習、及び実習を適切に組み合わせ、各分野の連携により体系的な学習が可能となるよう編成した。

- 1) 「基盤教育分野」では、グローバル化、情報化、少子高齢化など、急速な社会変化によって生じる現代社会の諸課題に対して、多様な価値観、幅広い視野を持ち、創造的に対応できる論理的思考力や問題解決力、コミュニケーションスキルなど、現代を生きるために必要な「人間のちから」を習得するための基礎となる科目を配置した。また、診療放射線技師として、医療にそして社会に貢献するために必要な優しさと奉仕の心、本質を見抜く深い洞察力、他者の立場に立って考えることができる想像力や感性など「豊かな人間性」を育むための基礎となる科目を配置した。
- 2) 「専門基礎分野」では、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」(基礎医学系)と「保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線科学及び技術」(基礎理工学・基礎科学系)の2つの領域に分類し、診療放射線技師として必要な知識及び技術を習得するだけでなく、医療技術の進歩に対応し得るための基礎知識や科学的思考力を身に付けるための科目を配置した。特に、1年次における早期臨床体験の導入により医療や診療放射線技術への興味・関心を広げ、将来への展望を拓くことを意図した。
- 3) 「専門分野」では、診療放射線技術に関する専門的な知識・技術を習得するために必要な科目、及び多様で高度化する医療に対応し得る応用力を身に付け、将来的には真のエキスパートになるために必要な科目を配置した。講義及び実習を有機的に組み合わせ、患者に診療放射線技術を適切に施すための知識と技術の習得が可能となるよう配慮している。また、「総合・発展技術」では、医療チームの一員として質の高い安全な医療を提供し貢献するために必要不可欠である幅広いコミュニケーションスキル、他の医療従事者と連携・協働できる能力、患者の不安を受け止め、寄り添うことのできる心を育むための科目のみならず、幅広い多角的な視野を持ち、主体的・独創的に課題に取り組み、解決へ導く研究的態度を養うための科目を配置した。

【教育学部 こども教育学科】

- 1) 「豊かな人間性と高い倫理観」を育むために「教養分野」を充実させる。
- 2) 「専門知識と技能を深く修得する」ための導入として、また「理論と実践を統合」することを促すための導入としての「専門基礎分野」をおく。
- 3) 「専門知識と技能を深く修得」し、「理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力を身につける」ために、「専門分野」を充実させる。
- 4) 「専門知識と技能を深く修得」することを一層深め、また「実践の場において自ら課題を見いだし研究することにより、保育や教育の質を高める態度を育む」ために「専門発展分野」を設け、充実した科目配置とする。

【短期大学部 口腔保健学科】

歯科衛生士の3大業務(歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導)に関する知識と実践の修得に加え、以下のカリキュラムをとって、より資質の高い学生を教育する。

- 1) 歯科衛生過程・・・自ら考え実践できる歯科衛生士の養成
科学的根拠に基づき歯科衛生士自らが、歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、治療計画・立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価ができ、多様化する対象者に対応できる能力を養わせる。
- 2) チーム医療の基礎と実践・・・チーム医療を担う人材の育成
多様化する医療分野(超高齢社会・疾病の構造変化など)において不可欠なチーム医療を担う職種として必要な基礎知識と実践力を修得させる。
- 3) 健康を守る社会システムの実践・・・医療人として社会に貢献できる人格と能力の形成
災害支援や地域活動および海外研修を通して、高い倫理観を備えた人格の形成と医療人として社会に貢献できる能力を備えた人材を養わせる。

【看護学科通信制課程】

教育理念に基づき高い資質を備えた専門職業人を育成するために「トータルヒューマンケア」「発達する人間」「ケアリング」「ホリスティックな健康」を柱とし、基礎分野・専門基礎分野・専門分野に区分設置し、有機的かつ系統的にカリキュラムを編成した。

- 1) 基礎分野は、人間を全人的にとらえ、かつ科学的な思考力を高め、共感的態度、倫理観、論理的思考を養うための教育内容とした。
- 2) 専門基礎分野は、看護学を専門分野として位置づけ、対象の生活過程を整える観点から、その専門領域を支える基礎となる教育内容とした。
- 3) 専門分野、統合分野の基礎看護学は、各看護学に共通の基礎的理論や基礎的技術を学ぶ内容とした。これを中核に各看護学分野では、対象の発達段階・健康段階・場の特性に応じて深化させる内容とした。また、各看護学分野は概論・援助論・演習・実習と既習内容を効果的に積み上げていけるよう配列した。さらに統合分野では、あらゆる発達段階・健康段階・場において判断能力、問題解決能力、実践力の育成を図る内容とした。
- 4) 臨地実習では、10年以上の勤務経験によって得られた“看護体験”を帰納的な思考プロセスをたどることにより、整理発展させることを目的に既修得学習から根拠に基づいた看護実践力を養うものとした。

・「入学者の受入に関する方針」

【神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部 全学アドミッションポリシー】

本学は、建学の精神の下、知的、道徳的に優れた医療・教育の専門職業人を育成している。

この目標をもつ本学は、「建学の精神」「ときわ教育目標」および学部・学科が定めるアドミッション・ポリシーを理解し、あらゆる人の「いのち」を医療や教育を通して支えていく意欲をもつ人を求める。

【保健科学部】

- 専門領域を学修するための基礎力と意欲をもっている人
- 人間に対する関心と愛情をもっている人
- 他者を理解し協働して行動できる人

【保健科学部 医療検査学科】

- 臨床検査あるいは保健医療の分野で社会に貢献したいと考えている人
- 人に対する興味をもち、思いやりをもって接することができる人

- 知的好奇心が旺盛で、物事を科学的な視点で捉えようとする人
- 保健医療の分野を学ぶために必要な基礎学力を備えた、学習意欲のある人

高等学校等の学習を通して数学、理科、英語について基本事項を正確に理解していること、および高校生活を通して日本語力とコミュニケーション能力を鍛えておくことが望まれます。

【保健科学部 看護学科】

- 人と自然を愛し、“いのち”を尊重し、育むところをもっている人
- 相手の言葉や投げかけに関心を寄せ、誠実に対話し、対応することができる人
- 問題を発見し、解決する意欲を持ち、行動することができる人
- 広く世界に目を向け、異文化に関心を寄せる人

高等学校等において、国語、数学、英語および理科の基礎学力を身につけ、それらの学習を通して、読解力、表現力、論理的思考力、問題解決力、および感性等をバランスよく身につけている人を求めます。さらに全教科の学習や教科外活動を通して、他者への配慮や社会的現象に興味関心を寄せ、“いのち”に対する温かいまなざしと高い倫理観に繋がる姿勢をもつことが望まれます。

【保健科学部 診療放射線学科】

- 診療放射線学に関する知識と技術を学び、社会に貢献したい人
- 自ら学ぶ意欲と能力を有し、知識・技術を身につけるためにたゆまぬ努力ができる人
- 医療人を目指す者として高い協調性と、責任ある行動がとれる人
- いのちに向き合い、優しい心を持ち、人との関わりを大切にできる人
- 多様な価値観を理解し、グローバルな視野を持って挑戦する意欲のある人

高等学校等において、数学・理科・英語について基礎を理解し、それらの学習を通じて読解力・表現力・科学的思考力を身につけている人を求めます。また、優しさや協調性、コミュニケーション能力など人間関係を形成できる能力を有していることが望まれます。

【教育学部 こども教育学科】

- 保育士・教員になることを目指している人
- 基礎学力のある人
- 課題を発見し、探究する意欲のある人
- 自分も他者もともに尊重し、協働して行動できる人

高等学校等においては、特定の教科に偏らず、すべての教科の基礎的な学習を通して、読解力、表現力、論理的思考力、問題解決力の基礎を修得していることを求めます。また保育士・教員は、人間性豊かであることが必要なため、課外活動にも力を注ぐ意欲を有していることが望まれます。

【短期大学部 口腔保健学科】

- 口腔保健に深い関心をもち、社会に貢献したい人
- 自律の精神をもち、自己啓発への意欲がある人
- 協調性とコミュニケーション能力に優れる人
- 広く世界に目を向け、異文化に興味がある人

高等学校等において、国語の学習を通して他者を理解しコミュニケーション能力の基礎となる読解力、理解力、表現力を身につけていること、さらに数学や英語などの教科・科目を広く学習することにより、基礎学力を身につけている人を求めます。また、学習面のみならず、課外活動等にも力を注ぐ意欲を有していることが望まれます。

【看護学科通信制課程】

- 豊かな人間性を持ち、人間やいのちに対して深い関心を寄せ、尊重できる人
- 准看護師としての基礎的知識を備えている人
- 物事に対して論理的に思考する人
- 自分なりの看護観を持って看護を探究する姿勢のある人

本課程では、教育理念に応じ入学者選抜試験を実施しており、明確な目的意識を持った人の入学を求めています。准看護師としての基礎知識を備え、社会情勢や看護の動向などに関心をもち、意欲と主体性を持って勉学に臨むことのできる人を求めます。

＜神戸常盤女子高等学校＞

教育目標

本校では以下の四つの教育方針を堅持しつつ、基本的なものの考え方、寛容の精神、豊かな常識を弁えた社会人を育成することを目標としています。

1. 一人ひとりの個性に応じた教育
2. 知性ある女性を育てる教育
3. 家庭・社会の一員として生きる技術の習得を目指す教育
4. あたたかい家庭的な教育

＜神戸常盤大学附属ときわ幼稚園＞

教育目標

心身ともに健やかな子ども

- ・伸び伸びと体を動かして遊ぶ。
- ・友達と一緒に考えたり工夫したりして遊ぶ。

素直で心豊かな子ども

- ・自分の思いや考えを素直に表現する。
- ・自然に親しみ、様々なことを感じ心を動かす。

思いやりのある子ども

- ・友達や周りの人の思いに気づく。
- ・身近な動植物に親しみ、命の大切さに気づく。

（2）中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

別紙詳細

（3）その他

別紙詳細

3.財務の概要

(1)決算の概要

①貸借対照表関係

ア)貸借対照表の状況と経年比較

(単位 百万円)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
固定資産	11,048	11,023	10,998	11,478	12,170
流動資産	2,633	2,816	2,682	2,239	2,214
資産の部合計	13,681	13,840	13,680	13,717	14,384
固定負債	1,374	1,319	1,216	1,111	1,642
流動負債	871	915	836	925	845
負債の部合計	2,245	2,235	2,052	2,037	2,488
基本金	14,773	14,897	15,079	15,849	16,288
繰越収支差額	△ 3,336	△ 3,292	△ 3,451	△ 4,169	△ 4,391
純資産の部合計	11,436	11,605	11,627	11,680	11,897
負債及び純資産の部合計	13,681	13,840	13,680	13,717	14,384

イ)財務比率の経年比較

(比率単位:%)

比率	算式	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
運用資産余裕比率	運用資産－外部負債					
	経常支出	65.8	74.1	79.4	69.5	55.0
流動比率	流動資産 流動負債	302.3	307.7	320.8	241.9	262.0
総負債比率	総負債 総資産	16.4	16.2	15.0	14.8	17.3
前受金保有率	現金預金 前受金	450.3	485.5	495.3	358.0	364.4
基本金比率	基本金 基本金要組入額	97.0	97.5	98.4	99.3	96.7
積立率	運用資産 要積立額	55.8	58.8	57.3	48.6	46.8
人件費比率	人件費 経常収入	60.7	62.5	63.0	64.1	60.9
教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	24.2	25.2	26.7	24.4	24.0
管理経費比率	管理経費 経常収入	8.1	7.9	9.4	9.5	9.3
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	8.4	5.1	0.7	1.7	6.4
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	72.4	71.3	73.7	72.7	75.4
経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	6.5	4.0	0.5	1.6	5.5
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 教育活動資金収入計	16.8	14.6	9.9	13.5	13.7

②資金収支計算書関係

ア)資金収支計算書の状況と経年比較

(百万円)

収入の部	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
学生生徒等納付金収入	2,359	2,345	2,347	2,315	2,531
手数料収入	45	43	38	47	47
寄付金収入	27	24	54	19	26
補助金収入	768	760	648	692	712
資産売却収入	1	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	16	14	15	17	15
受取利息・配当金収入	3	4	5	5	6
雑収入	100	130	80	88	50
借入金等収入	0	50	0	0	600
前受金収入	545	547	523	595	577
その他の収入	558	316	248	179	216
資金収入調整勘定	△ 680	△ 671	△ 612	△ 605	△ 682
前年度繰越支払資金	2,081	2,458	2,657	2,592	2,133
収入の部合計	5,824	6,021	6,003	5,945	6,231

支出の部	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
人件費支出	1,976	2,048	2,001	2,040	2,040
教育研究経費支出	486	521	560	501	535
管理経費支出	237	231	271	275	282
借入金等利息支出	11	9	8	8	8
借入金等返済支出	79	82	110	110	115
施設関係支出	200	50	160	654	585
設備関係支出	186	136	43	91	364
資産運用支出	92	144	90	40	40
その他の支出	233	275	273	221	237
資金支出調整勘定	△ 132	△ 134	△ 105	△ 128	△ 80
翌年度繰越支払資金	2,458	2,657	2,592	2,133	2,105
支出の部合計	5,824	6,021	6,003	5,945	6,231

イ)活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位 千円)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,253,472	3,286,900	3,179,009	3,178,491	3,352,384
教育活動資金支出計	2,698,774	2,800,318	2,831,586	2,816,220	2,856,874
差引	554,698	486,582	347,422	326,271	495,510
調整勘定等	△ 8,317	△ 6,489	△ 31,375	66,271	△ 35,499
教育活動資金収支差額	546,381	480,093	316,048	428,542	460,011
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	62,117	29,326	3,352	260	29,031
施設整備等活動資金支出計	426,019	276,698	243,279	784,893	988,758
差引	△ 363,902	△ 247,372	△ 239,927	△ 784,633	△ 959,727
調整勘定等	321,526	26,341	30,774	15,834	△ 34,117
施設整備等活動資金収支差額	△ 42,376	△ 221,031	△ 209,154	△ 768,800	△ 993,844
小計 (教育活動資金収支差額＋ 施設整備等活動資金収支差額)	504,005	259,062	106,894	△ 340,258	△ 533,832
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	140,853	220,433	131,144	121,566	741,847
その他の活動資金支出計	267,615	280,580	304,170	240,949	234,905
差引	△ 126,762	△ 60,147	△ 173,025	△ 119,383	506,943
調整勘定等	△ 212	309	583	272	△ 416
その他の活動資金収支差額	△ 126,974	△ 59,838	△ 172,443	△ 119,111	506,527
支払資金の増減額 (小計＋その他の活動資金収支差額)	377,031	199,225	△ 65,549	△ 459,369	△ 27,305
前年度繰越支払資金	2,081,185	2,458,217	2,657,441	2,591,893	2,132,524
翌年度繰越支払資金	2,458,217	2,657,441	2,591,893	2,132,524	2,105,218

③事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位 百万円)

科目	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	2,359	2,345	2,347	2,315	2,531
	手数料	45	43	38	47	47
	寄付金	27	24	54	19	26
	経常費等補助金	707	731	645	692	683
	付随事業収入	16	14	15	17	15
	雑収入	100	130	80	88	50
	教育活動収入計	3,254	3,287	3,179	3,179	3,353
	事業活動支出の部					
	人件費支出	1,978	2,058	2,006	2,042	2,044
	教育研究経費支出	787	829	851	777	805
	管理経費支出	264	259	299	303	311
	徴収不能額等	6	4	3	2	4
	教育活動支出計	3,035	3,150	3,159	3,124	3,164
	教育活動収支差額	219	137	20	54	188
	教育活動外収支	事業活動収入の部				
受取利息・配当金		3	3	4	5	5
その他の教育活動外収入		0	0	0	0	0
教育活動外収入計		3	3	4	5	5
事業活動外支出の部						
借入金等利息		11	9	8	8	8
その他の教育活動外支出		0	0	0	0	0
教育活動外支出計		11	9	8	8	8
教育活動外収支差額	△ 8	△ 6	△ 3	△ 3	△ 3	
経常収支差額	211	131	17	51	185	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	1	0	0	0	0
	その他の特別収入	69	39	6	4	33
	特別収入計	70	40	7	4	33
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	2	2	1	2	1
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	2	2	1	2	1
特別収支差額	68	37	6	2	32	
基本金組入前当年度収支差額	278	169	22	53	217	
基本金組入額合計	△ 257	△ 125	△ 182	△ 770	△ 439	
当年度収支差額	22	44	△ 159	△ 717	△ 222	
前年度繰越収支差額	△ 3,358	△ 3,336	△ 3,292	△ 3,451	△ 4,169	
翌年度繰越収支差額	△ 3,336	△ 3,292	△ 3,451	△ 4,169	△ 4,391	
(参考)						
事業活動収入計	3,326	3,330	3,190	3,187	3,391	
事業活動支出計	3,048	3,161	3,168	3,135	3,174	

(2)その他

①有価証券の状況

(単位：千円)

種類	当年度(令和3年3月31日)		
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
債権	350,900	350,788	-112
株式	0	0	0
投資信託	0	0	0
貸付信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	350,900	350,788	-112
時価のない有価証券	108,280		
有価証券合計	459,180		

②借入金の状況

(単位：千円)

借入先	期末残高
日本私立学校振興・共済事業団	1,122,100
兵庫県私学振興協会	91,400

③学校債の状況

なし

④寄付金の状況

(単位：千円)

科目	収入額
特別寄付金	25,857
一般寄付金	448

⑤補助金の状況

(単位：千円)

科目	収入額
国庫補助金	295,405
地方公共団体補助金	387904
その他	150

⑥収益事業の状況

私立学校法に定める収益事業は、該当ありません。

⑦関連当事者等との取引の状況

なし

⑧学校法人間の財務取引

なし

(3)経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

別紙詳細